

BCAO 関西支部 第75回支部会議事録 V2.0(2013/02/25 確定)

- (1)日時:2013年2月16日(土)12:00~13:45
- (2)場所:江崎記念館(大阪市西淀川区歌島)
- (3)座長:日下 太一
- (4)書記:柳父 行二
- (5)出席者:川口、大館、日下、萩原、柳父、藤村、伊藤、久保田、田中、速水、鷺山、梅田、小友、北田、新宅、徳永、西野、増穂、林(順不同、敬称略)

(6)議題:

1)江崎記念館(グリコ広報部植木氏)

- ・ DVDで、グリコの歴史、創業者(江崎利一)白寿のインタビュー、牡蠣の煮汁に栄養があるはずと検査依頼し、栄養菓子で起業。何とか三越に売り込み、軌道に乗せる。濱寺に初の自動販売機。おいしさ楽しさを融合、宣伝を考え、鉄道沿線に会社移転、クリームサンド(ビスコ)も日本初健康優良児のコンテストも支援

2)展示室見学

- ・ 創業時エピソードと発展、商品、グリコのイルミネーション、宣伝タレント、おまけ(おもちゃ)の歴史、会長生家模型、会長執務室再現、関係会社取扱商品など

3)グリコ防災食品の紹介(グリコ事業開発部内藤氏)

- ・ 阪神・淡路大震災時に、保存食(乾パン)は、硬く・重く・食べ難く量多いという評判を聞き、ビスコの保存缶を開発。食べなれた食べやすい物を保存食に、とのコンセプトで、保存期間満了時にはお菓子として食べてもらえる。行政や民間で採用され、帰宅困難者対策にも。
- ・ アルファ米の炊き込みご飯では飽きるとの話から、温めずにそのまま食べられる常備用カレーを開発。植物油を使用し、白い塊が出来ない。

4)阪神・淡路大震災被災地復興調査ー3月9日(土)(萩原氏)

- ・ 18年経過し、南海トラフ地震対策や被災地再開発事業の紆余曲折、野島断層記念館、津波防災ステーションを調査する。現在13名の参加だが、マイクロバスでの催行を確定し、余席分を追加募集中。費用は6000円代/人だが、調査研究費としての支出を本部と調整する予定。

5)新メンバー紹介(川口支部長)

- ・ 新宅氏(中央コンピューター)、林氏(東洋炭素ー11月も出席)

6)新年度方針について(川口支部長)

- ・ 4月からの新しい企画と活動方針を幹事でまとめようとしており、皆様からの提案を募集します。

7)3月例会・懇親会

- ・ 3月15日(金)に丸谷副理事長の講演「BCMの最新動向」を大阪市立中央公会堂で行う演者都合で懇親会を前日14日に開催し、当日15日は流れで自由に懇親してもらうことにする。

以上